

令和7年度【見直し】 御幸校区社協行動計画書

基本理念	基本目標	分野	福祉課題	福祉課題の実情	具体的な取り組み	校区社協での取り組み
明るく住みやすいまちづくり 御幸	健康で生きがいを持って暮らせるまちづくり	高齢者・障がい児・者に関すること	高齢者の孤立防止と社会参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人暮らし高齢者の閉じこもりや孤立</li> <li>若い世代との世代間交流が少ない</li> <li>地域行事への積極的な参加が少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>閉じこもり傾向にある高齢者に対して、地域の各種団体と連携した支援</li> <li>地域の役員だけでなく、隣近所同士の声かけ</li> <li>地域行事への呼び掛け、周知（参加意欲が湧くような方法の検討）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>敬老の日、敬老者（数え年80歳以上）に対する記念品進呈の継続</li> <li>御幸校区敬老会の実施再検討（時期、参加者、開催手法など）</li> <li>ふれあいいきいきサロン・きてみてかたらんねの充実（内容・回数）</li> </ul>
			高齢者の体力維持と健康問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動や会話等できる場所が近場に少ない</li> <li>高齢者が気軽に相談できる場が身近にはない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者が気軽に集まり簡単な体操、ゲーム茶話会等楽しめる機会の提供</li> <li>悩みを分かち合える環境を作る。高齢者の相談窓口の設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>さわやか健康ウォークの継続実施と内容充実</li> <li>公民館、空き家等利用した町内カフェの実施</li> </ul>
			認知症高齢者に対する理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症高齢者の増加</li> <li>認知症高齢者への対応がわからない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症高齢者がいる家族の交流会</li> <li>校区の諸々の相談機関と入居施設の周知。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>御幸いきいき元気クラブの継続実施と支援</li> <li>認知症予防対策及びその対処方法などの研修会、学習会の実施</li> </ul>
			障がい児・者に対する理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がい児・者に対しての差別や偏見がある</li> <li>障がい者の状況が把握しづらく、いざという時の支援が難しい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がい児・者に対する正しい理解を深めるための取組み</li> <li>障がい児・者に対する対応の方法を学ぶ機会をつくる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市障がい者相談支援センター（じょうなん）との連携強化</li> <li>障がい者に対する理解を深めるための子供たちへの学習支援</li> </ul>
			買い物等移動手段	<ul style="list-style-type: none"> <li>免許返納後の買い物に不安、車はあっても家族の反対で移動手段に困る</li> <li>移動手段がないと社会とのつながりが持ちづらい</li> <li>バス停までが遠く、バスに乗ることに抵抗がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>移動販売車の検討</li> <li>ゴミ出しや買い物支援など地域住民によるサービスへの取組み</li> </ul>	
	地域の子供を育てやすいまちづくり	子ども・子育てに関すること	子どもの人権（いじめ、不登校、虐待、引きこもり）	<ul style="list-style-type: none"> <li>不登校といじめ、引きこもりが増加している</li> <li>子どもの相談場所が少ない</li> <li>子どもが地域で集まり、交流ができる機会が少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの居場所づくりへの取組み</li> <li>児童虐待防止に関する（オレンジリボン）研修</li> <li>子どもが参加できる地域交流の場の確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>御幸小新入生と卒業生への記念品贈呈継続実施</li> <li>みるきいクラブ（子育てサークル）の内容充実と広報強化</li> </ul>
			子ども・子育て世帯の見守り	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人情報保護の観点から、情報収集が困難である</li> <li>子育て世帯の近所付き合いが希薄</li> <li>地域交流が少ないので子育て世帯が把握しづらい</li> <li>地域全体で子どもを見守るという意識の低下 家庭と地域が連携して子育てに取り組む環境とは言いづらい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども会への加入促進（参加することへのメリット、魅力のある行事の検討）</li> <li>保護者と地域との連携により子どもを見守り育てる</li> <li>地域住民による防犯運動の強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>赤ちゃん訪問継続実施と課題抽出</li> <li>みゆきプレイパークへの支援強化</li> </ul>
			子ども・子育て世帯の孤立と貧困問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て世帯の実態が把握できない（個人情報保護により制約がある 等）</li> <li>近所との交流が限定的である</li> <li>保育園、幼稚園を探すのが大変</li> <li>子どもが安心して遊ぶことができる場所が少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ひとり親世帯への支援・情報提供</li> <li>待機児童が多く、虐待防止のためにも保育園をつくってほしい</li> <li>世代間交流の取り組みの検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内ごとの子供会行事の把握と支援</li> </ul>
	災害に備えるまちづくり	災害に関すること	平常時における災害の備えと避難支援体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時の情報共有が不十分</li> <li>地域の防災施設（調整池・ポンプ等）の老朽化</li> <li>要配慮者の実態把握が難しい</li> <li>危険地域の情報や地域防災情報が十分に周知されていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害情報の提供と防災訓練の実施</li> <li>町内毎のハザードマップ作成状況の把握</li> <li>自主防災組織の構築、取り組みの強化</li> <li>災害時要援護者の実態把握</li> <li>災害時の役割分担 日頃から役割分担についてシミュレーションを行う（定期的実施）</li> <li>減災・防災に関する研修への取組み（子育て世代の参加しやすい企画）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発災時を想定した関係団体との協力のもと、校区住民が参加しやすい防災訓練、研修の実施</li> <li>各町内ごとのハザードマップの作成、更新により、平時の防災関心を高める</li> <li>各町内ごとの自主防災組織の再構築と取り組みにより機能強化を図る</li> </ul>
			災害時における避難支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難経路が不明確（災害の種類や規模に応じた避難経路の検討）</li> <li>一時避難所（集合場所）の把握と指定避難所までが遠い</li> <li>大規模水害時の避難所の確保が難しい</li> <li>避難する場所が少なく地域住民が全員避難出来ない（コロナの影響で定員削減のため）</li> <li>避難所の定員に達した場合にの受け入れ可能な避難所情報の提供</li> <li>近くに川が多く、大雨時に不安がある</li> <li>災害時の避難場所の見直し</li> <li>御幸小まで行くのは、道幅も狭く危険を感じる（日吉東小、田迎西小への避難の検討）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難場所と避難経路の確認</li> <li>災害の種類に応じた避難場所を把握しておく</li> <li>災害時における要援護者に対して避難場所へ誘導する体制づくり</li> <li>正確な避難先、連絡先の確認及び周知</li> <li>自主避難サポート事業（旧高齢者SOSサービス事業）との連携</li> <li>隣接する小学校との避難所に対する協議</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難行動要支援者の状況把握と発災時における対処強化</li> <li>熊本市と連携した避難所開設、運営訓練の実施</li> </ul>
			地域役員の担い手不足	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の各種団体の役員のなり手不足</li> <li>地域の役員（特に自治会）の若年層のなり手が少ない</li> <li>行政と地域団体との連携が不十分</li> <li>町内行事への住民参加が減少</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リーダーシップを発揮できる人材発掘及び組織の取組み</li> <li>自治会地域役員の人材確保、候補となりそうな人材を地道に探す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>御幸校区社会福祉だよりの継続発行</li> <li>交通安全、防犯推進と連携した小学生の登下校の見守り実施</li> </ul>
	暮らし・人とのつながり	環境と治安（ゴミステーション・騒音トラブルなど）	環境と治安（ゴミステーション・騒音トラブルなど）	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゴミ出しのルールが徹底されていない</li> <li>ペットの糞尿の問題</li> <li>空き家・空き地の問題</li> <li>朝時間規制してあるが守らない車両（違反車）が多い</li> <li>新旧住民との交流の機会が少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゴミ出しマナーに対する説明会を子ども会や老人会での講座として開く</li> <li>自治会加入への周知（加入のメリットが伝わるような）</li> <li>地域住民による地域での旗振り(交通の安全確保)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>校区夏祭り、体育祭等を機会に人材の発掘、育成に努める</li> <li>新、旧住民のコミュニケーション場づくり促進</li> <li>ゴミ出しルールの再徹底（町内回覧板の活用、適時パトロールなど）</li> </ul>